TAバージョン3.0
TAC121-G001
2006.4.1

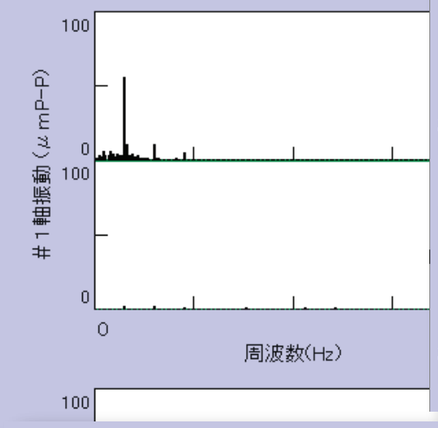
診断レポートの例

タービン・発電機運転状態遠隔監視
マンスリーレポート

タービン・発電機運転の状態監視・計測結果の傾向管理

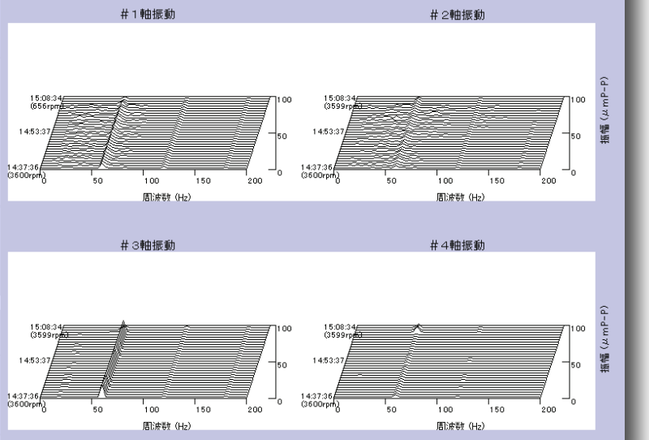
2－5. 軸振動計測結果（周波数分析結果）
報告日

回転数:　919 rpm　[15:07:34]



2－6. 軸振動計測結果（ウォーターフォール図：回転上昇or降下時）
報告日　2004年12月4日

ファイル名: FFT_20041208.dat　Date: 2004/12/08



3．総合評価
全計測点とも許容値以内です。且つ前回の計測値との変化量は以下の通りです。

		今回（振幅/位相）		最大変化率	
		最大値（μmP-P/deg）	最小値（μmP-P/deg）	振幅（%）	位相（deg）
タービン#1	58 / 29	58 / 29	1 / 15	-49.4	2
タービン#2	73 / 16	73 / 16	2 / 7	125.4	38
タービン#3	112 / 87	112 / 87	0 / 0	-85.0	-87
発電機#1	0 / 0	0 / 0	0 / 125		161
発電機#2	0 / 0	0 / 0	0 / 352		358
発電機#3	0 / 0	0 / 0	0 / 252		265

計測値は警報設定値以下ですが、計測点　タービン#２の振幅の変化率が+25なので、状況変化に注意願います。

遠隔タービン振動診断サービス

技術のお問い合わせは…　三菱重工業㈱長崎造船所　プラント技術部
solutions@diasys-netmation.com

ご使用の際は、製品に添付の取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。
本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
本書掲載の製品説明は、製品改良などのために実際の製品と違っている場合がありますのでご了承下さい。

三菱重工業株式會社
本社　横浜市西区みなとみらい3-3-1〒220-8401
TEL：045-224-9026
ホームページ：http://www.diasysnetmation.com/solutions/
MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD.

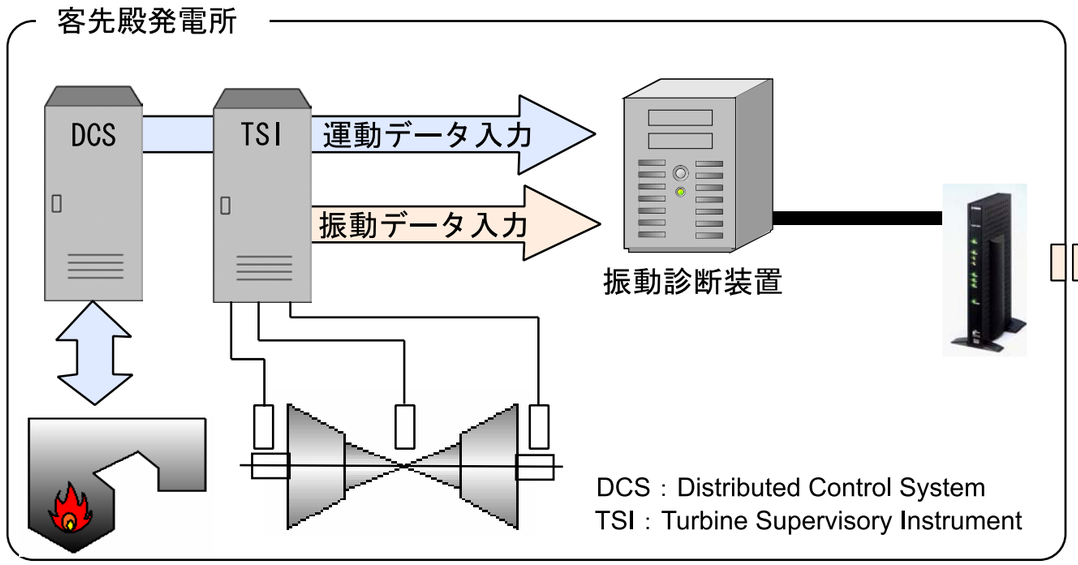
遠隔タービン振動診断サービス

このサービスは当社がこれまでに納入した蒸気タービンに対し、当社・長崎造船所の遠隔支援センターから遠隔で振動解析を行なうものです。
当所は2000年9月に遠隔支援センターを開設し、これまでに火力発電プラント・風力発電設備及び船舶等の遠隔監視の実績があり、加えて、近年のインフラとしてのインターネット及び通信回線等のIT技術の急速な発達により、更なる付加価値を付けたサービスの提供が可能となりました。
収集した振動データからタービン技術者ならびに振動技術者による診断評価を行い、診断レポートを作成・発行するとともに、不適合の予兆監視及び設備運用向上を支援する新しいサービスを提供致します。

特徴

◆通信ネットワークを介して、お客様の蒸気タービンの振動及びプラント運転データを遠隔支援センターのデータサーバに蓄積し、タービン技術者・運転技術者及び振動技術者による解析及び診断を行い定期的に診断・評価レポートを発行します。

◆定期的な診断・評価レポートとは別にタービン振動に異常が発生した場合、イベント処理として当所技術者にe-mailで自動で知らせることにより、迅速な異常処理対応が可能なシステムです。



タービン技術者・振動技術者による診断評価